



by 特集の最新号は、ASA7月15日発売。

座談会

- 勅使 千鶴さん (日本福祉大学 教授)
- 猪口 奏さん (日本福祉大学 4年生)
- 猪熊 弘子さん (「AERA with Baby」編集統括)
- 中島 章裕さん (社会福祉法人 明照保育園 園長)
- 中島美奈子さん (社会福祉法人 明照保育園 主任保育士)



子どももの健やかな成長のために

保育実践の視点から

子どもたちの教育で始まるのが、豊橋市の社会福祉法人「明照保育園」の1日。平成13年より「早寝早起き朝ごはん」プロジェクトが進められていて、午前8時から続々と登園する園児たちの姿が見られます。まず朝の目録は、給食で使うジヤガイモやニンジンなどの皮むき。飼育しているウサギやカメなどの餌やりも、みんなで行います。そして午前中は水着に着替えて、プール遊び。園児たちは元氣よく準備体操をして、水しぶきを上げながら走り回っていました。

保育園は「社会の縮図」。多様な価値観の中で、子どもは成長する

猪口 今日見学して印象に残ったのは、アスレチック系の遊具があり、ウサギやヒツジなどの動物をたくさん飼っているなど、子どもたちの冒険心を育て

子どもたちの教育で始まるのが、豊橋市の社会福祉法人「明照保育園」の1日。平成13年より「早寝早起き朝ごはん」プロジェクトが進められていて、午前8時から続々と登園する園児たちの姿が見られます。まず朝の目録は、給食で使うジヤガイモやニンジンなどの皮むき。飼育しているウサギやカメなどの餌やりも、みんなで行います。そして午前中は水着に着替えて、プール遊び。園児たちは元氣よく準備体操をして、水しぶきを上げながら走り回っていました。



勅使 千鶴 教授
日本福祉大学 子ども発達学 専修長
子ども発達学 保育専修 専修長
プロフィール：ちくしゅ 名古屋大学大学院教育学研究科教育学専攻修士課程修了。専門分野は保育・幼児教育。特に保育所・幼稚園におけるあそび、指導法など。「子どもの発達とあそびの指導」(原著)、「幼稚園の保育・幼児教育と子育ての社会的支援」(編著)など。

環境づくりがされていることです。餌やりや、子どもたちがうれしそうに動物の名前を覚えてくれたのが印象的でした。また集団で行動する

ときの指示も言葉だけでなく、音楽を使ったり、ゲーム感覚にしたりなど、子どもたちの意欲をかきたてる働きかけも勉強になりました。

猪熊 私はベビー雑誌の編集記者であるとともに、4児の母として、今も12年間現役の保育園ママ生活を送っています。気になるのは、子どもたちを取り巻く環境のこと。仕事柄さまざまな保育園へ取材に訪れま

が、アレルギーの問題などで動物を飼うところが減ってきています。確かに安全性は重視すべきですが、それだけでいいのだからかという疑問も感じています。保育園で思い切り遊んだ子どもたちは、



早寝早起きのあそびで、朝から元氣

小学生になってもたくましくいすからね。

勅使 そうですね、今日会った子どもたちはみんなイキイキとした目をしていました。これは園で子どもの力を引き出すいきいきとした活動があるからです。それは、部屋に貼られた子どもたちの絵にも出ていたように思います。また、毎年プール開きの日に近所の方が作ったスイカのプレゼントがあるそうですが、今年も今日のプール開きに登場しました。地域の皆さんで保育園の子どもを育てていると感じまし



給食用の野菜は、みんなで皮むきを手伝い



猪口 奏さん
日本福祉大学 4年生

た。ところでこちらは子どもの数が250人ほどですが、苦勞されることもあるのでしょうか。中島(章) 苦勞する部分もありますが、むしろ、人数が多いことで園児に多くの人たちがふれあう環境を提供できていると考えています。いろいろな友達ができ、さまざまな大人と関わっていく。保育園が社会の縮図になっているともいえます。子どもたちは最終的に社会へ出て行くわけですから、取られた集団での価値観ではなく、さまざまな価値観にもまれながら自己を確立していくのが、本来の成長だと考えます。中島(美奈子) 子どもは周りの環境を敏感に感じとら

は、子どもは保育者同士が連携する姿を見て、自分の人間関係の構築にいかしていくと記載されています。保育士同士も認め合い、理解し合い、喜び合えるように取り組むことも大事であり、忘れてはならない視点のひとつです。

子どもを中心に 人と人とのつながりを深めたい

猪熊 保育園は、子どもにとって最初に関わる社会です。就労支援的なイメージが強いのですが、働くママの支援だけでなく、子どもを中心に考えた地域の子育てのサポート体制を整備する必要もあるのではないのでしょうか。

理論・技術・実践を統合する、日本福祉大学の保育学

1961年の女子短期大学部保育科開設時から、保育者(保育士・幼稚園教諭)養成に取り組んできた日本福祉大学の保育学の特徴は、「現場を知った上で理論を学び、理論を学んだ目を通して現場に必要な実践力をつける」という「理論と実践の統合」にあります。子ども発達学科保育専修では、保育・幼児教育をはじめ、養護、家族支援、地域連携など、幅広い領域における系統的な学びと、保育現場、地域の子育て現場を積極的に観察・体験する取り組みで「理論と実践の統合」を身につけていきます。

勅使 確かに。保育園は働く親の支援と同時に、子どもに最善の利益を保障する保育をするところ。ところが最近の保育政策では、働く親の支援が中心となり、いつの間にか、子どもの最善の利益を保障する保育の視点が抜け落ちていきます。その点では、「子ども」を中心に地域で一緒に子どもを育てようと明照保育園の園だよりに書かれています。非常に大事な考え方ですね。

中島(章) 保育園は、子どもの育ちを手助けする場所。子どもを真ん中にして、どのようにしていくかを考えています。例えば、子どもたちの食育という視点から、給食で使うにんじんや玉ねぎの皮を園児たちが自分でむけるようにしています。自分でむいた材料が給食として出ることで、食に対しての意識が変わってくるんです。

勅使 玄関に今日の給食で使われる調理前の野菜が展示されているのに、新鮮さを感じました。





少子化や核家族化、晩婚化、未婚率の上昇など、子どもと子育て家庭を取り巻く環境が大きく変化している中、保育ニーズはますます多様化の様相を見せています。そこで40年を超える保育者養成の実績をもつ日本福祉大学は、保育実践の観点から保育の現場を訪問。豊橋市の社会福祉法人「明照保育園」において、保育の現状と未来をテーマに、保育者、保育学の教授、ベビー雑誌の編集記者など、さまざまな立場から意見を交わしました。



中島 章裕さん
社会福祉法人 明照保育園 園長

でも私自身は保育園を通じてママ友だちができて、空回りしなくてもお

ちよとした工夫ですが、毎日の生活を中心にした取り組みが、子どもの発達には欠かせないと思います。それと、明照保育園の「お知らせ」は、毎日の保育の様子をメールで家庭に発信されていますが、これは今の親の願いに合っているのだと思います。中島(美) 自分が親の立場であれば、園の中でどのように生活しているのかを知りたいと思います。「伝える」ということが大事で、言わなくてもわかるだろうというのでは駄目です。しっかりと伝えることで、園と親、親子が近づいていくのです。猪口 保育園でのコミュニケーションが増えそうですね。保育園に子どもを預けたあと、迎えに行くまでの間のことは別と考えると、親も親もいると思います。保育園での子育てを伝えることは大事だと感じました。猪熊 帰宅して寝るまでのひとときだけを、家族の時間と思いついて保護者も増えています。ともすると保育がただのサービスになってしまい、「保育って何だろう」と真剣に考える機会が失われつつあります。



変換いばいの手作り給食をいただきます。

まなで、全部保育園に預ける状態にならなっています。「保育サービス」という言葉は、いろいろな点を助長し、親同士の助け合いの視点が抜けてしまったように思います。「いっしょに育てていく」という考え方が重要ですね。中島(美) 豊かな社会になったにもかかわらず、人間関係は希薄化しています。子どもたちにとって必要なのは、人と人とのつながりを取り戻すこと。保育園はその役割も担っています。社会は「おかげさま」で成り立っていることを、子どもたちには日常生活を通して教えていくべきでしょうね。

これから保育者を目指す学生に伝えたいこと
猪熊 これまで、何人ものすばらしい保育士さんに出会えたことは大切な財産。子どもへの気持ちを尊重し、いつも同じ目線で接してくれました。大切に

子育てについて相談し合える関係が続いています。保護者自身も積極的に、保育園生活に関わりをもつべきでしょうね。動機 女性の社会進出や核家族化の進行などで、保育要求が増大し始めたのは1960年代の半ばです。当時は保育時間が短かったため、仕事の関係で困ったときは親同士が互いに子どもたちを見て助け合っていました。それが今は、お金で済むなら、他の親に頼まないと、全部保育園に預ける状態にならなっています。「保育サービス」という言葉は、いろいろな点を助長し、親同士の助け合いの視点が抜けてしまったように思います。「いっしょに育てていく」という考え方が重要ですね。中島(美) 豊かな社会になったにもかかわらず、人間関係は希薄化しています。子どもたちにとって必要なのは、人と人とのつながりを取り戻すこと。保育園はその役割も担っています。社会は「おかげさま」で成り立っていることを、子どもたちには日常生活を通して教えていくべきでしょうね。



中島美奈子さん
社会福祉法人 明照保育園 主任保育士

中島(章) 保育とは、子どもだけ親だけに必要なものではないですね。その中で育つていった子どもたちが社会に巣立っていく、子どもたちと接することが、ひいては社会と結びつくことになり。その第一歩が、目の前にいる子どもや保護者であること。しっかりと覚えておいてほしいと思います。猪口 あります。ありがとうございます。私も、子どもだけ

でもらったという思いは、将来にわたって心の支えになるものです。親にとっても働かながら子育てをするのは、不安でいっぱいでも保育士さんのおかげで、私は仕事をあきらめずに続けてこれました。これから保育士さんを目指す方には、人と人の結びつきを大事に考えてほしいですね。中島(美) 子どもは難しいことと直面したとき、見守ってくれる大人が近くにいると、秘められた力を発揮するものです。また、誰かと関わることの大切さを知っている人も、子どもへの言葉かけが温かいですね。とにかく、大学で培った知識は、生ものです。悔いのないように勉強に打ち込んでください。

中島(章) 保育とは、子どもだけ親だけに必要なものではないですね。その中で育つていった子どもたちが社会に巣立っていく、子どもたちと接することが、ひいては社会と結びつくことになり。その第一歩が、目の前にいる子どもや保護者であること。しっかりと覚えておいてほしいと思います。猪口 あります。ありがとうございます。私も、子どもだけ



「気持ちいい」歓声が上がるプール遊び



猪熊 弘子さん
AERA with Baby 編集統括

期待に沿えるような学生を育てていかねばと身が引き締まる思いでいます。(敬称略)

います。日本福祉大学では、子ども全般とともに、障害をもった子どもや家族支援など福祉の観点から子どもについて学んでいます。なんらかの問題を抱えた子どもにおこられる保育を学ぶことで、子どもに対する視野が広がったと思います。さらに、午前中の保育を見せていただけて、また先生方のお話を聞いて、もっともっと保育の現場を見なければという気持ちになりました。動機 保育者としてまず大切なのは、人間としての豊かさだと思います。そのために大学では保育の専門科目はもちろんのこと、哲学、経済や歴史など一般教養も大切にしています。幅広く深める学びが、親・保育者のおかれている状況や気持ちの理解につながっていくと考えるからです。また、その力を保育の現場で発揮できるように、4年間を通して少人数編成によるゼミで学習・研究をおこなっています。ゼミでは、課題を解決する力を形成することにも、その過程で互いに協力し合うことの難しさ、大切さを学び、人と協同する力を養っていくことを狙っています。学生には、広い視野と信頼関係のもとに子育て支援ができる保育者にならしてほしいですね。皆さんの期待に沿えるような学生を育てていかねばと身が引き締まる思いでいます。(敬称略)

中島(章) 保育とは、子どもだけ親だけに必要なものではないですね。その中で育つていった子どもたちが社会に巣立っていく、子どもたちと接することが、ひいては社会と結びつくことになり。その第一歩が、目の前にいる子どもや保護者であること。しっかりと覚えておいてほしいと思います。猪口 あります。ありがとうございます。私も、子どもだけ

中島(章) 保育とは、子どもだけ親だけに必要なものではないですね。その中で育つていった子どもたちが社会に巣立っていく、子どもたちと接することが、ひいては社会と結びつくことになり。その第一歩が、目の前にいる子どもや保護者であること。しっかりと覚えておいてほしいと思います。猪口 あります。ありがとうございます。私も、子どもだけ